

沖縄県

沖縄県退職校長会

結成 平成元年 3 月 24 日

1 本県退職校長会の設立と現状

沖縄県退職校長会は平成元年に「本県教育の振興並びに郷土の発展への寄与と会員相互の親睦と福利の増進」を目的に結成され、36年目を迎えている。県内の国頭、中頭、那覇、島尻、宮古、八重山の6地区の退職校長会や関係教育機関と連携して事業を推進してきた。令和6年度の会員数は435名で、前年度までは、550名以上を維持していたが、新規入会者の辞退や高齢化による退会、一部の地区退職校長会の休会等で会員数が減少した。

2 「善行児童生徒表彰」と「教育の日」制定要請活動

本会では、創意ある県単独の事業として、平成11年度から「善行児童生徒表彰」を事業化し、令和6年度で26年目になる。この事業は、「学校、家庭、地域社会におけるあらゆる善行活動に対し表彰を行うことを通して、更なる善行活動の普及及び健全育成を図ること」を趣旨としてスタートした。

令和6年度までの実績は、個人361名、151団体の児童生徒が表彰を受けており、関係機関・団体と連携した取組として定着している。

「教育の日」の要請活動は市町村教育委員会に対して「広く教育尊重の気運を高め、国民こぞって教育の大切さを考え、教育の振興を期する日とした教育の日の制定をおこなうよう」粘り強く働きかけてきた。令和6年3月現在、41市町村中34市町村が制定し83%の制定率（11市においては91%）となっており、未制定の市町村に対しても継続して要請を行っている。

